

22 薬物乱用防止

◆覚せい剤・大麻・危険ドラッグなど

の薬物乱用防止について

薬物乱用に関する事件が多発しており、大きな社会問題になっています。

乱用される危険のある薬物には、覚せい剤・大麻・危険ドラッグなどがあります。

覚せい剤は、特に依存性が強く、脳神経系に作用して心身の働きを一時的に活性化させ、覚せい剤精神病と呼ばれる中毒症状も起こします。

大麻は、乱用すると幻覚や妄想などの症状が出たり、興奮状態になったり、気分が落ち込んだりなど感覚が異常になります。

危険ドラッグは、お香・バスソルト・アロマオイル・ハーブなど、安全に見せかけた「偽装されたパッケージ」で売られ、「元気がでる」「簡単に痩せられる」「無害」などと表示されていますが、実際は覚せい剤や大麻に似た成分が混ぜ込まれています。意識を失う、けいれんが起こる、さらには死に至る毒性の高い成分が含まれていることもあります。

薬物には、使用を繰り返すうちに、また使用したくなるという「依存症」を引き起こす性質と、それまでと同じ量では効かなくなる「耐性」という性質があります。1回だけと甘い言葉につられて手にした薬物は、「依存性」と「耐性」によって使用する回数や量が増え、自分の意志では止めることができなくなります。心身を害するだけでなく、社会的地位や信用を失うことにもつながるのです。

覚せい剤や大麻などの違法薬物の栽培、所持、使用、譲渡、売買は重大な犯罪で、大学においても処分の対象です。”脱法”であった危険ドラッグも、国は乱用根絶に向けて法規制を強化しており、絶対に使用したり勧めたりしてはいけません。

* 福井県薬物乱用ホームページより一部抜粋

■大学内相談窓口

保健管理センター（学生会館2階） 0776-61-6000（内線：1601）

■薬物問題に関する相談窓口

福井県健康福祉部医薬食品・衛生課 0776-20-0347

福井県警察本部組織犯罪対策課 0776-21-4618

福井県総合福祉相談所(ホットサポートふくい) 0776-26-4400
--

■保健所薬物相談窓口

福井県福井健康福祉センター 0776-36-1117

福井県坂井健康福祉センター 0776-73-0600

福井県奥越健康福祉センター 0779-66-2076

福井県丹南健康福祉センター 0778-51-0034

福井県嶺南振興局二州健康福祉センター 0770-22-3747

福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター 0770-52-1300
